



公益財団法人 星総合病院

けんこう

懸虹

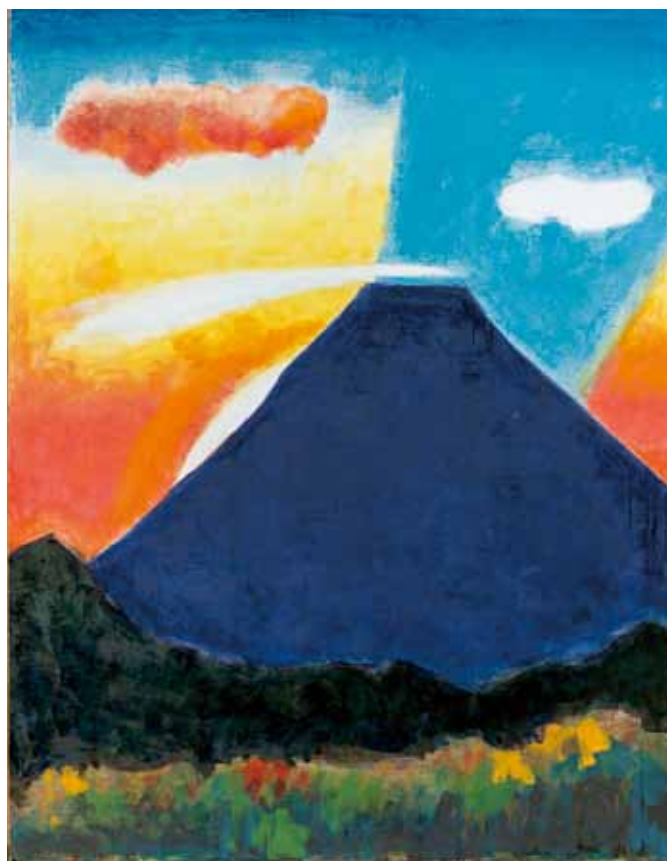
令和5年1月 No.312

特集

新年のご挨拶



- 森東医師 副理事長就任
- 新たな感染症 地域連携に向けて
- トピックス
- こども事業部ニュース
- 大町新複合施設進捗状況



日入らんとす (F50、1989)
星 一雄

醫

霊

『COVID-19』と名称のついたコロナウイルス感染症と戦い共存して2023年の今、4年目を迎えました。この間に、それまではあまりなじみのなかったオンラインでの会議や研修会が一般的なものになり、今まで不変と思っていたものがそうではなかったと気づかされました。『時代が動く』ということはこういうことなんだなあと身をもって知らされた3年間でした。

さて、医療業界においても更なる変化が訪れようとしています。健康保険証とマイナンバーカードの一体化と今まで紙だった外来処方せんをデータで運用する『電子処方せん』の使用に向けた動きが進んでいきます。医療機関や調剤薬局などが、患者さんの情報を共有できる世の中が思った以上の速さでやってきそうです。今後私たちは大きな期待と若干の不安を感じながら、このITの波に乗っていくのでしょうか。

ただ、いくら便利になったからと言っても忘れてはならないことは、私たち医療従事者がどれだけ『人間らしさ』を発揮できるかではないでしょうか。医療従事者として、星総合病院職員として、求められていることは何か。

新年を迎えるにあたって改めて私たちの理念『醫霊』に込められた意味を考えてみたいと思います。

星総合病院 薬剤部

科長 中島 聡子

＜醫霊＞霊をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

新年のご挨拶

公益財団法人星総合病院 理事長 星 北斗



あけましておめでとうございます。3年目を迎えた新型コロナ対策は、波を打ちながらまだ続いています。法人職員の皆さんには、緊張の中で日々仕事をしていることに心から感謝します。当法人の運営への私の関与と責任がどうなるのか、という心配の声を頂いておりますが、今後とも地域の医療の為に頑張って参りますので、御安心頂きたいと思います。

去年は地域の皆様の御支援により、国政へと送って頂きました。医療界以外の諸問題に接し、あらためて我が福島県の課題や潜在的なポテンシャルに気づくことができました。現場の声をしっかり国政に反映させるために、これからも現場主義で取り組んで参ります。

高齢化と少子化は地域の姿を大きく変えていきます。大町の旧病院は、取り壊しが進んでおり、跡地の再開発に向けて着実に取り組んで参ります。新施設は変わりゆく地域のつながりの基点、拠点を目指して、準備を進めて参ります。

共に暮らす全ての人の協力によって、新たな地域づくりが求められており、当法人は、これからも職員・家族・地域の皆さんと共に新しい地域づくりに取り組んで参ります。本年もよろしくお願い致します。



星総合病院 病院長 渡辺 直彦

新年明けましておめでとうございます。

なかなか新型コロナウイルス感染症の終息の兆しがみられない状況ですが、地域の皆様におかれましては、心身ともに疲労がみられることと存じます。

一方で、ワクチン接種が進み重症化率や死亡率は低下してきました。これからは季節性インフルエンザと同様の対応になることが予測され、感染状況に合わせた柔軟な対応が求められます。基本的な感染対策を確実に実施し、新型コロナウイルス感染患者さんの診療は勿論のこと、救急と入院治療が必要な患者さんの診療にも最大限取り組んでまいります。

去年は、総合診療科が開設され、呼吸器内科、循環器内科、消化器外科、皮膚科などに新任医師が着任し診療体制が充実してまいりました。おかげさまで臨床研修医募集では平成27年度以降フルマッチを継続しています。これらを基盤に、今後とも地域の急性期病院としての救急医療と高度医療の提供を継続いたします。さらには、田村地域公立3病院連携強化にも基幹病院として支援してまいります。

皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

星ヶ丘病院 病院長 竹内 賢



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの全国的な広がり、いまだ収まる気配がみられず、去年も社会・経済・医療に甚大な影響を与えることとなりました。当院においても、陽性患者さんの入院受け入れ、診療・検査医療機関としてのPCR検査、地域住民のワクチン接種等に全力を尽くした1年となりました。来院の皆様には、感染対策としての体温チェックや症状確認、手指消毒等のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

当院は、多職種で患者さん本位の質の高い精神科医療の提供に努めておりますが、このたび、更に充実した医療サービス、療養環境提供を目的に、施設のリニューアル計画の取り組みを開始いたしました。急性期医療を中心に、患者さんの早期在宅移行、地域移行の実現に邁進していく所存です。

今後もお一人おひとりの思いに寄り添い、患者さんがお住まいの地域の中でいきいきと暮らしていくことが出来るよう、更に支援を強化して参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



三春町立三春病院 病院長 渡辺 文明

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は地球上で様々な事態が発生しました。2022年の文明が進化した時代に戦争が勃発するという異様な事態に、世の人々はどのように考えていることでしょうか。異常気象による干ばつ、大洪水といった急激な地球環境の変化も看過できない状況となっています。地球上の生きとし生ける物はすべて平等です。一個人として出来ることは、対象が何であっても相手の立場に身を置いて思い、行動するようにしたいです。月日は等しく巡ります。そして地球は唯一無二です。思いをかみしめながら職務を全うしていく所存です。今年もよろしくお願いいたします。



たむら市民病院 病院長 佐瀬 道郎

新年あけましておめでとうございます。
 旧年中は格別なるご高配を賜りまして誠に有難うございました。
 生まれ育った阿武隈地区で安心して一生を終えられるような慢性期医療・終末期医療、在宅医療と連携した地域密着型医療を求める声にこたえていくことが当院のテーマと自覚して日々診療に当たっておりますが、様々な場面での法人の皆様方のお力添えのおかげで成り立っていると感謝いたしております。この場をお借りして御礼申し上げます。
 令和7年完成移転予定の新病院の敷地内には、昨年4月に当法人が運営する認可保育園「星の森保育園」が開園しました。150名のお子さんたちが木のぬくもりと明るい日差しに恵まれた素敵な園舎で元気な声を上げています。また、昨年10月には新病院から車で約3分の地に、『ほしくまあんしんベース船引』が新規開設されました。この施設は「田村市ふねひき地域包括支援センター」「星訪問看護ステーションたむら」「地域交流ホール」「みんなのキッチンたむら」の4つの機能を持ちます。このように阿武隈地区においても乳幼児から高齢者の生活に寄り添っていくという当法人の礎が整ってきつつあります。
 令和5年も職員一丸となって地域の皆様に信頼される市民病院であるように努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 大貫 朱夏

謹んで初春のお慶びを申し上げます。
 旧年中もオリオンへの御理解、御協力をいただき誠にありがとうございました。
 2022年は国内外において心を痛めるような出来事がたくさん起こり、新型コロナウイルス感染流行は、いまなお終息が見えない状況にいます。それに伴い各種保険料の引き上げが検討されており、介護保険・高齢者医療制度にも今後、影響が及ぶ可能性が示唆されます。歴史の大きな転換点に居ることを実感する毎日です。
 しかしながら塞ぎ込んでばかりはいられず、私達の役割『超強化型老健施設』として「在宅復帰支援」に力を入れ、法人機関、近隣の医療福祉機関、地域の方々と共に、御高齢者および御家族の健康で穏やかな日々を守る主軸の一部でありたいと思っております。困ったときに頼っていただける存在であるよう職員一同、引き続き尽力していく所存です。
 本年が笑顔溢れる一年となることを心よりお祈り申し上げます。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎

新年明けましておめでとうございます。
 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
 未だに続くコロナ禍、社会福祉法人各事業所は、財政並びにサービス提供の両面において厳しい状況に追い込まれました。
 我が法人も昨年は、職員の大幅補充と育成に力を注ぎ、業務再生に努めました。今年は職員一人一人が羽ばたけるよう努力の継続をして参ります。
 昨年の宿題である科学的情報システム（L I F E）の導入、事業継続計画の作成、第三者評価の受審、地域公益事業の展開等、着実に進めていきたいと思っております。
 最近になって漸く、福祉と医療の連携協力という言葉が医療界からも発せられるようになってきました。福祉側からみた医療という見方も医療が受け入れることができるかが、連携協力の成否の鍵となることでしょう。
 新しい年に新しい気持ちで、新たな前進をと思ひます。皆様のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

森 東 医師 副理事長就任



令和4年10月21日に開催された臨時理事会において副理事長に選任され、令和4年11月より副理事長に就任されました。

もり
森

あづま
東

精神科医師

この度、公益財団法人星総合病院の副理事長を拝命致しました。長らく理事、業務執行理事の職を務めてまいりましたが、副理事長という重要な職責を引き受けることになり、身の引き締まる思いです。

当法人で現在進行中の事業、大町旧病院跡地の複合施設では多世代が繋がり、地域が繋がれるような施設作りを計画しております。また星ヶ丘地域の開発や田村地域の公立3病院連携にも取り組んでまいります。

今後は、星理事長をはじめ、理事の先生方、職員の皆様のご指導ご支援をいただきながら、地域の医療機関との連携を図り、地域の皆様の信頼を更に高めていけるよう微力ではございますが、尽力していく所存です。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

新たな感染症 地域連携に向けて

星総合病院 感染対策室長 加藤 一夫

もう3年近くなりますが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに見舞われて、行政・医療機関・社会生活に大きな混乱を招いております。何時までも自粛生活を強いるのは限界と考えたのか政府は積極的交流へと舵を切りつつあります。そんな中、医療機関への負担増加は覆うべくもなく、その体制充実化は喫緊の課題となってきました。

そうした流れの中、今年度「感染対策向上加算」に掛かる診療報酬体系が大きく改定されました。昨年までは地域連携と称しても、病院間のみの連携であったものから地域のクリニックが連携の輪に入りました。

地域での感染症対策では、地域に密着し、かかりつけ医を担っているクリニックは、新たな流行性疾患の探知と治療対応に於いて最も重要な位置を占めており、地域住民の安心確保にも大きく貢献するものであります。

とは申せ、クリニックのみならず、私共にとっても初めてのことであります。また、それぞれの医療機関が普段の感染対策をどのようになさっているかなど不明なことも多くございます。これらのギャップを埋めるべく、私共が保有している人的資源等をフル活用して感染症に関する地域医療構築と良好な運営に軽快なフットワークで貢献していきたいと考えております。是非、遠慮なく当院と連携を選択した皆様にご活用頂けることを強く祈念しておりますとともに医師会並びに保健所の手厚いご支援とご指導を願っております。



感染対策向上加算とは？

保険診療点数の「感染防止対策に向けた取り組みを評価する加算」のことです。

院内感染防止対策を行った上で、更に院内の感染制御チームが、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用等の感染防止に努めます。新興感染症の発生時には患者を受け入れる体制確保も必要となります。このように地域の医療機関等が連携して感染症対策を行う取り組みを評価するものです。



合同カンファレンスの様子



地域医療機関との連携のために ～合同カンファレンスの開催～

星総合病院はクリニックや保健所と連携し、地域全体の感染対策水準向上を目的として、定期的に『合同カンファレンス』を開催しています。

星総合病院の感染対策室は、室長の加藤一夫医師を含む医師2名、看護師2名、臨床検査技師2名、薬剤師1名、事務1名の計8名で活動しています。



感染対策室のメンバー

第100回 集談会を開催しました

10月6日、メグレズホールを会場にオンライン配信も含め法人施設職員、地域の医療関係者など約350名が参加し集談会を開催しました。地域医療の向上の為、最新の医療を学ぶ場として連携医療機関などにご案内し昭和47年から開催している学術集会です。

今回は、第100回記念セレモニーも9月18日に開催しました。

- 一般公演 各施設各部署の取り組みや症例についての研究発表…6題
- 特別講演 「麻酔入門」
福島県立医科大学医学部 麻酔科学講座
主任教授 井上 聡己 先生



井上 聡己先生



記念セレモニーでの
理事長講話

ミュージックサンタ★ラン イン郡山 2022

12月18日、星総合病院小児科病棟で『ミュージックサンタ★ラン』に参加しました。サンタ★ランは、病気と闘う子どもたちにクリスマスプレゼントを贈り笑顔になってもらいたいという想いで始まったチャリティイベントです。当日は、子ども向け番組の振り付け指導などで活躍する「たにぞうさん」のライブをオンラインで楽しんだ後、サンタさんからのプレゼントを受け取り、楽しくて嬉しいクリスマスとなりました。



学会にて優秀演題に選出されました

11月20日、栃木県足利市で開催されました第15回日本運動器疼痛学会において、星総合病院慢性疼痛センター（福島県立医科大学医学部疼痛医学講座）副センター長 高橋直人先生の演題「ICD-11J分類にみた運動器慢性疼痛に対する外来での集学的痛み治療の効果」が優秀演題に選出されました。



慢性疼痛センター副センター長
高橋 直人先生（左）

表彰

厚生労働大臣賞

第69回精神保健福祉全国大会において、三春町敬老園園長 阿部和紀さん（精神保健福祉士・社会福祉士）が令和4年度精神保健福祉事業功労者に対する厚生労働大臣賞を受賞しました。



三春町敬老園 園長
阿部 和紀さん

法人立病院協会賞

令和4年度福島県保健衛生学会において、星総合病院リハビリテーション科 佐藤峻さん（理学療法士）の研究発表「幼児の運動能力と身体機能の関連について」が、法人立病院協会賞を受賞しました。



星総合病院
リハビリテーション科
佐藤 峻さん（右）

ピンクリボン in 郡山 2022 開催

今年で13回目となる乳がんの早期発見・早期治療のために、乳がん検診の啓発を行うピンクリボン運動は、星総合病院をメインにオンラインにて開催しました。日本乳癌学会の専門医の講義、更に乳がんと遺伝の関係の講義などが行われ、約80名の方々がオンライン参加されました。

リンチ症候群研究会シンポジウム 市民公開フォーラムを開催

大腸がんや子宮体がんを中心に様々ながんのリスクが上昇する遺伝性疾患「リンチ症候群」の診断から治療、遺伝カウンセリング、当事者の声などについて取り上げた内容のシンポジウムでした。当院の野水 整 総院長が当番世話人となりオンライン開催されました。

こども事業部News

『講座』開催報告

令和4年度親子ふれあい活動計画より

10月8日(土) 子育て講座「知ってトクする 食物アレルギー」

管理栄養士による子育て講座が行われました。

アレルギーのリスク因子やアレルギーの原因食品の代替方法、星総合病院での食物経口負荷試験等の話があり、食物アレルギーについての知識が深まる貴重な機会となりました。



10月22日(土) 公開講座～笑い与健康～ 「笑って、免疫力アップ!!」

星総合病院メグレスホールにて、福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授 大平哲也先生をお招きして、公開講座を開催しました。

笑うことで、ストレスはもちろんのこと、免疫力がアップされ、健康で長生きでいられるなどの話を、「笑いヨガ」を交えて楽しい講演となりました。マスク着用でのご参加でしたが、参加者の皆さんからは笑顔と沢山の笑い声が聞かれました。



講師の大平哲也 氏



✧ これからの予定 ✧ (HPやチラシにてご案内いたします)

- | | |
|----------------|---------------|
| R5, 1 / 14 (土) | 風揚げ・伝承遊び |
| 1 / 28 (土) | デコ屋敷に行ってみよう |
| 2 / 25 (土) | 雪遊びor陶芸教室 |
| 3 / 25 (土) | ザ・ムービーとスライム作り |

施設情報

『星の森保育園』 田村市 より

10月13日(木) 星の森ジャズ演奏会～ jazzと日本舞踊のコラボレーション～

特定非営利活動法人キッズファンによるジャズ演奏会を開催しました。地域の方もお招きし、子どもたちと一緒に生演奏を聴くことが出来ました。子どもたちが知っている曲もたくさんあり、みんなで歌ったり、日本舞踊にアレンジして踊ったりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。



『大町キッズベース』 より

10月23日(日) 令和4年度 大町キッズベースまつり

『結ぶ』をテーマに法人・地域・キッズベースが手を結んで、ゲームコーナーやワークショップ、大町探検やお化け屋敷、ダンスの発表等を行いました。多くの方に参加していただき、たくさんの笑顔があふれる1日となりました。



2025年オープン 大町新複合施設 進捗状況!!

情報発信の役割も担う



令和4年より旧星総合病院の解体が進められています。いよいよ大町新複合施設の開発が本格的に始まっていきます。これからどんな建物が立つのか新しい情報を発信していきます。

進捗状況



現在解体中



新複合施設イメージ

イベント

大町新複合施設内『ものづくり工房』の先駆けとして“Craft&Cafe”をコンセプトに、郡山市大町で「ほしくまわくわくベース」を営業しています。自分のためのものづくり、大切な人へのものづくり、そして、地域の資源を使ったものづくりをモットーに、月別のワークショップイベントや毎日いつでもできるワークショップを企画しています。普段はCafeとして飲み物やスイーツを提供していますので、ふらっと立ち寄り自由な時間を過ごしなが、時々ものづくりに取り組んでみるのはいかがでしょうか？

縫製や木工、革細工、陶芸など、さまざまなものづくりが体験できるよう準備をしていますので、これからのイベントをチェックしてみてください。



陶芸



フィットネススミージー試飲会



量作り



お話し



マルシェ



レーザークラフト

イベント
チェックは
こちら



Instagram



Facebook



公式LINE



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501
郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511代
- 星ヶ丘病院
〒963-0211
郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411代
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752
田村郡三春町字六升50番地
TEL 0247-62-3131代
- たむら市民病院(指定管理)
〒963-4312
田村郡三春町字南町通11番地
TEL 0247-82-1117
- ほし横塚クリニック
〒963-8803
郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778

- 星訪問看護ステーション
〒963-8803
郡山市横塚2丁目20番36号
(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-956-2322
- サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 0247-73-8270
- サテライトしずか
〒963-0209
郡山市御前5丁目18番地
ウェストパークB棟102号
TEL 024-983-6410
- サテライト三春(三春病院内)
TEL 0247-73-8270
- 星訪問看護ステーションたむら
(ほし横塚クリニック内)
〒963-4312
田村郡三春町字南町通11番地
TEL 0247-82-1117

- 介護老人保健施設オリオン
〒963-0211
郡山市片平町字北三天2番地
TEL 024-952-6413
- 芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822
郡山市昭和2丁目17番2号
TEL 024-941-1121
- 田村市ふなひき地域包括支援センター
(ほしくまあんしんベース内)
〒963-4312
田村市船引町船引字小沢川代89番地1
TEL 0247-73-8762
- 星総合病院在宅介護支援センター
(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-983-5515
- 居宅介護支援事業所星ヶ丘
(星ヶ丘病院内)
TEL 024-952-6414
- 養護老人ホーム三春町敬老園
(指定管理)
〒963-7752
田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618

- ボラリス保健看護学院
〒963-8801
郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010
- 大町キッズベース
〒963-8001
郡山市大町2丁目3番26号
TEL 024-983-5401
- ほしくま児童家庭支援センター
〒963-8001
郡山市大町2丁目15番2号
ハート調剤ビル2F
TEL 024-983-8375
- ほしくまわくわくベース
〒963-8001
郡山市大町1丁目11番11号
上石ビル1階
TEL 090-2486-9556
- ほしくまあんしんベース船引
〒963-4312
田村市船引町船引字小沢川代89番地1
TEL 0247-73-8762

- ほしのご保育園
〒963-8501
郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘保育園
〒963-0211
郡山市片平町字北三天7番地3
TEL 024-951-0788
- 星の森保育園
〒963-4312
田村市船引町船引字屋頭清水285番地
TEL 0247-61-5581
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769
田村郡三春町担橋1丁目4番地の1
TEL 0247-62-3839
- 三春町第2保育所(指定管理)
〒963-7719
田村郡三春町字山字泉沢100番地の1
TEL 0247-62-2748

ご意見を
お聞かせ下さい

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>

発行/公益財団法人星総合病院
発行日/令和5年1月

編集/法人広報部
住所/〒963-8501郡山市向河原町159番1号